

第52期 報告書

2013年4月1日 ~ 2014年3月31日

HEPHAIST®

それは価値を創造する個性ある集団です。

ヒーハイト精工株式会社

証券コード：6433

当社は、1962年（昭和37年）の創業以来、リニアモーションベアリングの専門メーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべき技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアベアリングなどの直動機器事業、精密部品加工事業及びポジショニングステージなどのユニット製品事業の3つの事業領域で企業価値の拡大を目指して参ります。



直動機器事業

円筒直動軸受製品
直動軸受応用製品及びユニット
球面軸受等

精密部品加工事業

エンジン部品加工
精密部品の受託加工等

ユニット製品事業

XYθステージ
Zチルトステージ
XYθZステージ
多軸ステージ
その他システム製品

目次

事業概要	1	株式の状況	6
株主・投資家の皆様へ	2	会社の概要	6
連結財務諸表（要旨）	3	第52期定時株主総会に関するご報告	...
TOPICS	5	株主メモ	...



第53期経営方針

『次善を求めて最善を尽くす+S』

変革期こそ、経営や業務の「不易と流行」を再確認する絶好のチャンス、最善最速を尽くす

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第52期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化や欧州経済の長期低迷が見られるものの、米国経済においては持ち直しの傾向が見られ、緩やかに回復いたしました。わが国経済におきましては、金融政策による円高是正や各種政策による経済成長への期待から景気回復の兆しが見え、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ニーズに応える応用製品の開発及び販売を進め、営業・技術・製造の三位一体体制で販売の強化及び生産性の向上に努めて参りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,543,486千円（前連結会計年度比18.3%増）となりました。利益面につきましては、主力製品の直動機器の拡販戦略のため値引き供給を行ったことに加え、下半期には安定生産による生産性の向上により原価低減が図られたものの、上半期の受注減少で生産性が落ちたことによる原価高が影響し、経常利益は432千円（前連結会計年度は経常損失45,028千円）、当期純損失は4,994千円（前連結会計年度は当期純損失38,144千円）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、産業用機械業界等からの受注が持ち直し、当連結会計年度の売上高は1,253,076千円（前連結会計年度比16.7%増）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用エンジン部品及び一般受託加工の受注が増加し、売上高は168,698千円（前連結会計年度比20.3%増）となりました。

ユニット製品につきましては、電子部品業界及びスマートフォン等の液晶製造装置向けの標準品及び大型カスタマイズ

品の販売を進め、売上高は121,711千円（前連結会計年度比34.5%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、海外経済においては、堅調な景気回復が期待される米国や持ち直しの兆しがある欧州を牽引役に、中国や新興諸国においても回復基調に転じるなど、世界経済は総じて改善が進むものと思われま。また、日本経済は円安基調や株価上昇等を背景に、緩やかな回復が続くものと思われま。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,689百万円（前期比9.5%増）、営業利益50百万円、経常利益53百万円、当期純利益34百万円を見込んでおります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

当社グループは、このような事業環境の中で、受注確保を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、業績の早期回復及び経営基盤の強化に努めて参ります。

重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウンによる採算性向上
- ② QCDの徹底追求による顧客対応力の強化
- ③ 海外販売展開の構築・強化
- ④ 主力製品リニアプッシュの用途拡大（顧客ニーズに適合した応用製品の開発と販売）

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、当事業年度につきましては、業績の向上に鋭意努めて参りましたが、当事業年度の業績を勘案いたしました。誠に遺憾ながら無配といたしました。

次期の配当につきましては、1株につき期末配当1円を予定しております。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	52期 平成26年3月31日	51期(ご参考) 平成25年3月31日	科 目	52期 平成26年3月31日	51期(ご参考) 平成25年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	2,087,095	2,069,174	流動負債	450,445	460,827
現金及び預金	760,119	759,566	支払手形及び買掛金	201,390	216,444
受取手形及び売掛金	602,787	513,697	電子記録債務	40,768	-
電子記録債権	12,920	-	1年内返済予定の長期借入金	124,956	151,208
製品	188,801	146,855	未払法人税等	7,000	6,215
仕掛品	265,527	301,611	その他	76,330	86,960
原材料及び貯蔵品	221,524	306,869	固定負債	685,777	715,664
その他	35,416	40,573	長期借入金	506,367	539,658
固定資産	2,039,342	2,096,859	退職給付引当金	-	51,478
有形固定資産	1,970,302	2,040,404	役員退職慰労引当金	65,261	56,011
建物及び構築物	712,270	757,989	退職給付に係る負債	57,924	-
機械装置及び運搬具	106,330	118,493	その他	56,224	68,516
工具、器具及び備品	20,763	21,549	負債合計	1,136,222	1,176,491
土地	1,063,504	1,063,504	純資産の部		
その他	67,433	78,868	株主資本	2,980,920	2,985,914
無形固定資産	4,070	4,514	資本金	717,495	717,495
投資その他の資産	64,970	51,940	資本剰余金	664,455	664,455
資産合計	4,126,438	4,166,033	利益剰余金	1,599,153	1,604,148
			自己株式	△ 183	△ 183
			その他の包括利益累計額	9,294	3,626
			純資産合計	2,990,215	2,989,541
			負債純資産合計	4,126,438	4,166,033

連結貸借対照表のポイント

資産の部

たな卸資産は前期と比べ79,483千円減少しました。
設備投資の総額は28,170千円となりました。

負債の部

長期借入金100,000千円を調達しました。

純資産の部

円安により為替換算調整勘定が5,379千円増加しました。

※手形にかわって電子記録債権、債務(でんさい)の利用を開始しました。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	52期	51期(ご参考)
	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	1,543,486	1,304,556
売上原価	1,148,128	954,112
売上総利益	395,358	350,443
販売費及び一般管理費	398,996	391,427
営業損失(△)	△ 3,638	△ 40,983
営業外収益	12,239	3,092
営業外費用	8,168	7,136
経常利益又は経常損失(△)	432	△ 45,028
特別利益	2,348	-
特別損失	200	353
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	2,580	△ 45,381
法人税、住民税及び事業税	2,439	3,365
法人税等調整額	5,135	△ 10,602
当期純損失(△)	△ 4,994	△ 38,144

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	52期	51期(ご参考)
	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	114,484	△ 66,282
投資活動によるキャッシュ・フロー②	64,095	△ 119,348
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 70,861	190,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,834	1,141
現金及び現金同等物の増減額	110,552	6,212
現金及び現金同等物の期首残高	649,566	643,354
現金及び現金同等物の期末残高	760,119	649,566

連結損益計算書のポイント

販売費及び一般管理費の研究開発費は24,366千円となりました。営業外収益に円安により為替差益11,528千円を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- ① たな卸資産減少により資金が増加しております。
- ② 定期預金の払戻により資金が増加しております。
- ③ 長期借入金の返済により資金が減少しております。

連結株主資本等変動計算書のポイント

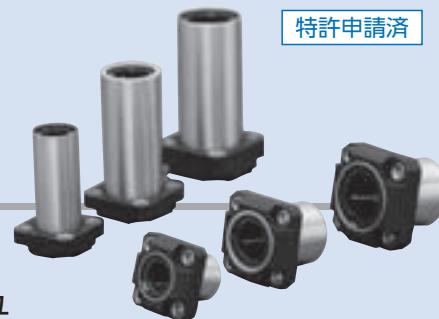
為替換算調整勘定が増加しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	52期	51期(ご参考)
	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
株主資本		
資本金		
当期首残高	717,495	717,495
当期変動額	-	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	717,495	717,495
資本剰余金		
当期首残高	664,455	664,455
当期変動額	-	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	664,455	664,455
利益剰余金		
当期首残高	1,604,148	1,642,292
当期変動額	-	-
当期純損失(△)	△ 4,994	△ 38,144
当期変動額合計	△ 4,994	△ 38,144
当期末残高	1,599,153	1,604,148
自己株式		
当期首残高	△ 183	△ 172
当期変動額	-	△ 10
自己株式の取得	-	△ 10
当期変動額合計	-	△ 10
当期末残高	△ 183	△ 183
株主資本合計		
当期首残高	2,985,914	3,024,069
当期変動額	-	-
当期純損失(△)	△ 4,994	△ 38,144
自己株式の取得	-	△ 10
当期変動額合計	△ 4,994	△ 38,154
当期末残高	2,980,920	2,985,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	78	82
当期変動額	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	288	△ 4
当期変動額合計	288	△ 4
当期末残高	367	78
為替換算調整勘定		
当期首残高	3,547	△ 178
当期変動額	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,379	3,726
当期変動額合計	5,379	3,726
当期末残高	8,927	3,547
純資産合計		
当期首残高	2,989,541	3,023,974
当期変動額	-	-
当期純損失(△)	△ 4,994	△ 38,144
自己株式の取得	-	△ 10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,668	3,721
当期変動額合計	673	△ 34,433
当期末残高	2,990,215	2,989,541

JFKシリーズ

Hybrid Flange Linearbush
ハイブリッドフランジリニアブッシュ

業界初

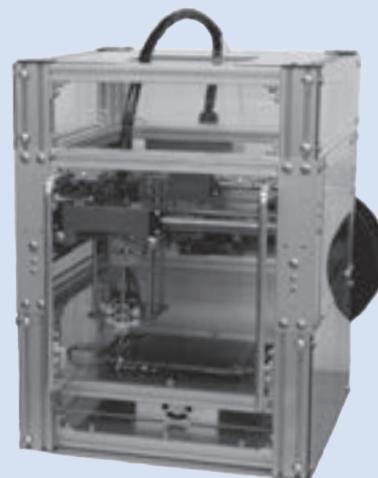
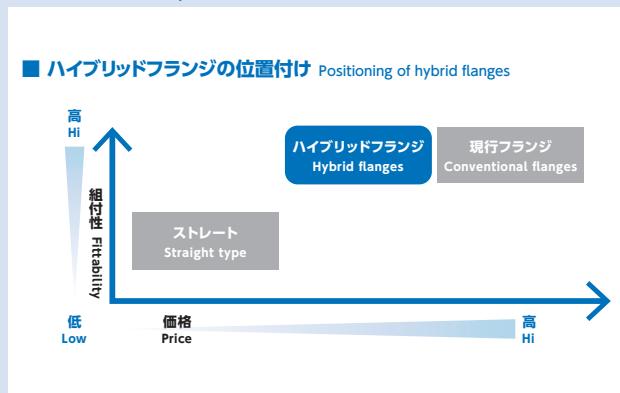
『フランジ部に高強度プラスチックを採用し、組付性とコストバランスの両立を実現します。』

【特長】

- インサート成型採用（フランジ、外筒結合部）・・・フランジ部精度、密着強度の確保
- 軽量化・・・最大25%down ※
- コスト・・・最大40%down ※

※従来品 金属製フランジ比

コンセプト Concept



ハイブリッドフランジリニアブッシュの搭載事例として当社開発の3Dプリンタ

株式の状況

株式の状況 (2014年3月31日現在)

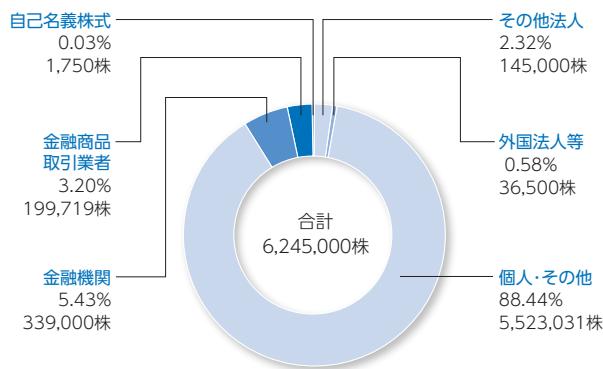
発行可能株式総数 …………… 18,720,000株

発行済株式の総数 …………… 6,245,000株

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,123	17.98
尾崎 文彦	1,021	16.34
尾崎 久壽彌	694	11.12
日本証券金融株式会社	289	4.62
藤内 和光	139	2.22
山崎 哲靖	100	1.60
土井 雅晶	90	1.44
松井証券株式会社	63	1.00
伊藤 美智子	61	0.97
ヒーハイス精工社員持株会	57	0.91

所有者別株式数 (2014年3月31日現在)



会社の概要

会社の概要 (2014年3月31日現在)

社 名 …… ヒーハイス精工株式会社

本 社 …… 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 …… 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,589㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 …… 〒010-1653
秋田県秋田市豊岩小山字下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-2231

海外子会社 …… 赫菲(上海)軸承商貿有限公司
〒200051
中華人民共和国上海市長寧区中山西路
555号 緑洲大廈1幢813室
赫菲(上海)軸承商貿有限公司 蘇州分公司
〒215009
江苏省苏州市高新区火炬路12号内

設 立 …… 1962年 (昭和37年) 7月19日

資 本 金 …… 717,495,000円

グループ従業員 …… 76人

役員 (2014年6月26日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
取締役	福留 弘人
常勤監査役	村田 伊織
監査役	小川 好文
監査役	上條 弘
執行役員	菜花 有三
執行役員	佐々木 宏行

※監査役村田伊織、上條弘は社外監査役です。

第52期定時株主総会に関するご報告

平成26年6月26日開催の第52期定時株主総会における報告事項及び決議事項は、下記のとおりです。

記

報告事項

第52期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

議案 取締役3名選任の件

本件は、原案どおり取締役に尾崎浩太、尾崎文彦、福留弘人の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話	0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
公告の方法	電子公告の方法により行う。
公告掲載URL	http://www.hephaist.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※ 本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。